

石川県七尾美術館だより

平成22年4月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第61号 (春号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

長谷川等伯没後400年記念・開館15周年記念
「等伯をめぐる画家たち」より

国指定重要文化財 **「桜・鉾杉図襖」** (部分)

長谷川派
桃山時代 (16～17世紀)
各縦183.0 横137.0 (cm)
京都市・妙蓮寺蔵



展覧会紹介

平成22年4月24日(土)～

6月27日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

長谷川等伯没後400年記念・開館15周年記念

「等伯をめぐる画家たち」

4月24日(土)～5月30日(日)

【会期中無休】

第一・第二・第三展示室

長谷川等伯は、能登七尾出身で桃山時代に活躍した画家です。天文八年(一五三九)に生まれ、若い頃は「信春」と名乗り能登周辺で仏画などを描きやがて上洛。五十歳頃より「等伯」と名を改め金碧画や水墨画などを幅広く手掛け、中世から近世へと移り変わる激動の時代を、疾風ののごく駆けぬけました。七十二年の生涯の間、数多くの名作を描き、その力量は当時の画壇の雄・狩野永徳を脅かすほどであったといわれます。

現在、桃山時代を代表する画家として、また「日本水墨画の最高傑作」といわれる国宝「松林図屏風」の作者として、抜群の知名度と人気を誇る長谷川等伯。郷土を代表する偉人のひとりといえるでしょう。

その等伯が没したのが慶長十五年(一六一〇)二月。今年には等伯没後ちょうど四〇〇年という、大きな節目の年にあたります。



「出山釈迦図」長谷川等嘗
東京都・國土安穩寺蔵

それにあわせて東京・京都の国立博物館では等伯の大回顧展が開催され、すでに鑑賞された方もいらっしやるかと思えます。同展は等伯作品のほとんどが出品されている近年まれに見る豪華な内容であり、等伯に関心のある方はご鑑賞されることをオススメします(四月一日現在、東京展は終了、四月十日より五月九日まで京都展が開催されます)。



市文「日蓮聖人坐像」長谷川信春(等伯)彩色 七尾市・本延寺蔵



重美・県文「祇園会図」伝長谷川久蔵 石川県立美術館蔵

さて当館では、等伯出身地の美術館としてその顕彰を主要テーマに、これまで活動を行なってきました。そして今回、国立博物館が等伯本人の作品を中心に展示していることにあわせ、当館では「長谷川派」と総称される等伯周辺の画家たちに注目し、記念特別展「等伯をめぐる画家たち」を開催いたします。

等伯の制作活動において、七尾での誕生以後江戸で生涯を終えるまで、その周囲には常に多くの画家たちが存在しました。等伯の若い頃、能登での活躍期には養父の宗清などが制作の手ほどきをしたといわれますし、京都に拠点を移して「長

谷川派」の総帥になってからは、息子や弟子といった一門の画家たちと共に制作に励んでいます。そして等伯の没後、残された画家たちはその遺業を受け継ぎ、制作活動を続けました。

彼ら「長谷川派」画家たちの足跡は、京都をはじめとして全国各地に分布していることから、広範囲にわたって活躍していたことが窺われます。そして等伯の出身地である石川県も、「長谷川派」画家たちが制作したと考えられる作品が多く残されている地域です。

そこで本展では、それら地元ゆかりの「長谷川派」画家たちに焦点をあて、等伯の養祖父や養父が制作した可能性が指摘されている作品など、若き等伯が影響を受けたといわれる仏画をはじめ、等伯の四男で「白雪舟六代」を名乗り、金沢にも作品を残す長谷川左近(一五九三?)、等伯と同時期に能登地域で活躍したとされる長谷川等嘗(一六一六?)らが描いた、仏画や鑑賞画などを展示します。

さらに「長谷川派」一門の画家たちが総力を結集して制作した、桃山時代の絢爛豪華な文化を今に伝える金碧画の名品も併せて展示、重要文化財を含む計二十二点の作品・史料を紹介します。

この記念すべき年、等伯を生んだ七尾の地で、様々なゆかりの作品をぜひご覧ください。



町文「涅槃図」長谷川藤原
穴水町・來迎寺蔵

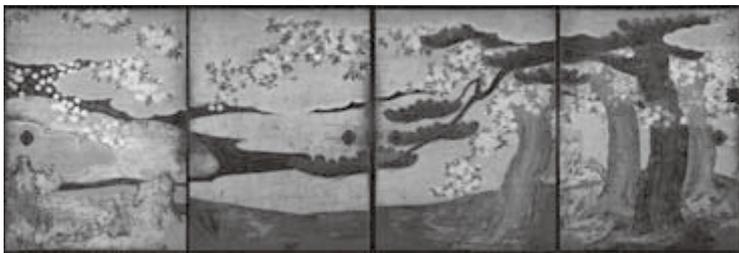
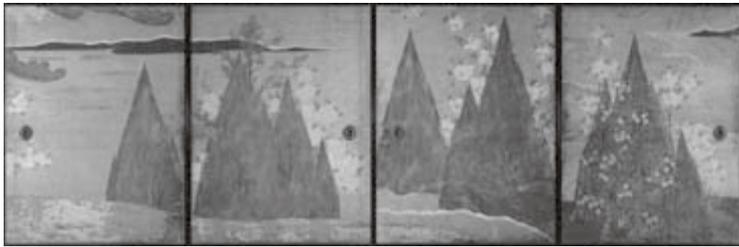
《出品作品一覽》

※◎：国指定重要文化財 ○：重要美術品

□：石川県指定文化財 △：市町村指定文化財

※8は前期（4月24日～5月12日）、9は後期（5月13日～30日）で展示替えを行います。

- 1. △ 「涅 槃 図」 無分筆 七尾市・長壽寺蔵
- 2. △ 「涅 槃 図」 長谷川藤原筆 室町時代制作 六水町・来迎寺蔵
- 3. △ 「十六羅漢図」 長谷川派筆 室町時代制作 七尾市・悦叟寺蔵
- 4. △ 「熊木左近将監画像」 七尾市・定林寺蔵 室町時代制作
- 5. △ 「日蓮聖人坐像」 長谷川信春(等伯)彩色 七尾市・本延寺蔵 永禄七年(二五六四)制作
- 6. 「波龍図屏風」 長谷川等伯筆 桃山時代制作 京都市・本法寺蔵
- 7. □ 「祇園会図」 伝長谷川久感筆 桃山時代制作 石川県立美術館蔵
- 8. ◎ 「桜・銚杉図襖」 長谷川派筆 桃山時代制作 京都市・妙蓮寺蔵
- 9. ◎ 「松・桜図襖」 長谷川派筆 桃山時代制作 京都市・妙蓮寺蔵
- 10. 「秋草図襖」 長谷川派筆 桃山時代制作 京都市・本観堂禪林寺蔵
- 11. 「柳橋水車図屏風」 長谷川派筆 桃山時代制作 金沢市・大乘寺蔵
- 12. □ 「十六羅漢図」 長谷川左近筆 江戸時代制作 金沢市・大乘寺蔵
- 13. 「達 磨 図」 長谷川左近筆 江戸時代制作 個人蔵
- 14. 「波龍図屏風」 長谷川左近筆 江戸時代制作 和歌山県・金剛三昧院蔵
- 15. △ 「白描涅槃図」 長谷川等誉筆 慶長四年(二五九九)制作 七尾市・成蓮寺蔵
- 16. △ 「涅 槃 図」 長谷川等誉筆 慶三、三年(二〇七〇)制作 七尾市・東嶺寺蔵
- 17. △ 「涅 槃 図」 長谷川等誉筆 慶長一四年(二六〇九)制作 七尾市・本延寺蔵



上：「桜・銚杉図襖」下：「松・桜図襖」共に重文 長谷川派 京都市・妙蓮寺蔵



「達磨図」長谷川左近 個人蔵

- 18. △ 「涅 槃 図」 長谷川等誉筆 桃山～江戸時代制作 中能登町・山田寺蔵
- 19. 「松・杉・榎図屏風」 長谷川等誉筆 桃山時代制作 羽咋市・妙成寺蔵
- 20. 「出山釈迦図」 長谷川等誉筆 江戸時代制作 東京都・國土安穩寺蔵
- 21. 「十六羅漢図」 長谷川等誉筆 江戸時代制作 個人蔵
- 22. 「長壽寺過去帳」 七尾市・長壽寺蔵 江戸時代制作

《関連事業》

①記念講演会（聴講無料）

日時 5月9日（日）午後2時より

会場 当館アートホール

講師 嶋崎 丞（当館館長）

演題 「等伯をめぐる人びと」

※ご聴講の方には、等伯関連ハガキを一枚プレゼントします。

②等伯子どもなんでもクイズ（参加無料）

対象 小中学生

日時 「等伯をめぐる画家たち」会期中開館時間内随時

会場 当館展示室

※全問正解された方の中から抽選で、等伯関連グッズをプレゼントします。

◇観 覧 料

一般	個人	団体
700円	3500円	6000円
大高生	3500円	3000円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。



「松・杉・榎図屏風」(左隻) 長谷川等誉 羽咋市・妙成寺蔵



「波龍図屏風」(右隻) 長谷川左近 和歌山県・金剛三昧院蔵

長谷川等伯没後400年記念事業（4～6月） ※平成22年3月現在
七尾市内の各地で、様々な団体による催しが行われます。その一部をご紹介します。

祝 完成!! 複製「松林図屏風」

等伯の代表作といえ、国宝人気ナンバーワンの「松林図屏風」です。平成17年に2週間だけの特別公開を果たした折は、約5万7千人の方が鑑賞されました。その頃から、「高齢者や子どもたちは、なかなか所蔵先の東京国立博物館まで見に行けない。複製を作り、この郷里七尾で鑑賞することはできないか」とのお声が多く聞かれるようになりました。しかし、当初は非常にハードルが高く、実現させることができませんでした。

ところが、平成20年の洞爺湖サミット会場に「松林図屏風」複製が飾られ、ようやく実現性を帯びてきたのです。正式に当館収蔵品としての製作が決定し、関係者のご協力のもと、何枚にも及ぶ色校正が行われました。複製とはいえ、国宝中の国宝”ですから、妥協せず表具に至るまで入念なチェックを行いました。皆さん是非ご覧ください。



6段階の色校正をバックに、表具に使用する裂と椽を確認する様子

《お披露目セレモニー》入場無料
日時 5月2日(日) 午前10時～
会場 当館アートホール
当館館長嶋崎丞による作品解説があります。

《平成22年度一般公開日》入場無料
春期 5月2日・3日・4日・5日
秋期 10月31日、11月1日・2日
(午前9時～午後5時まで。ただし、5月2日のみ午前10時～)

第30回 小丸山さくらまつり 無入場

4月11日(日)
時間 午前10時30分～午後2時30分
(アトラクションは午後1時30分まで)
場所 小丸山公園
加賀藩祖前田利家の出世城跡に造られた公園は桜の名所です。まつりでは歌謡ステージなどの催し物や茶会(お茶券500円お菓子付)が行われます。
主催・連絡先
小丸山公園保勝会(七尾商工会議所内)
☎0767(54) 8888

**第30回小丸山さくらまつり協賛
等伯子ども写生大会** 参加無料

4月11日(日)
時間 午前9時～12時30分
(受付は午前8時30分～)
対象 中学生まで
場所 小丸山公園
5月16日(日) 午前10時より当館アートホールにて写生大会の入賞者表彰式が行われます。
主催 等伯会
共催 七尾市少年団体連絡協議会
小丸山公園保勝会
飛弾和男(事務局長)
連絡先 ☎090-826315046
七尾市教育委員会子ども教育課
☎0767(53) 8435

第31回 等伯まつり 無入場

4月23日(金) 午後1時00分
定期総会
前年度の報告と今年度の事業計画・予算などについて協議します。
等伯顕彰セレモニー 午後1時30分
箏、尺八の演奏・献茶・献歌献句・コーラス等。
場所 当館アートホール
主催・連絡先
等伯会(石川県七尾美術館内)
☎0767(53) 1500

**国指定重要無形民俗文化財
青柏祭**

5月3日(月・祝)～5日(水・祝)
大地主神社(山王神社)の春祭りで、能登最大の祭礼。高さ12m、重さ20tの日本一大きなデカ山と呼ばれる山車3台が街中を曳き廻されます。今年のデカ山を飾る人形の題材は等伯です。
◎魚 町「上洛の場」
◎鍛冶町(仮)「茶会の場」
◎府中町「等伯、久蔵親子の競演」

5月2日の夕刻から市内の人形宿にデカ山の人形が飾られ、5月4日正午過ぎには3台の曳山が大地主神社に揃います。5月5日午前11時半頃、能登食祭市場前に3台の曳山が揃い、その後、御祓川河畔に再び揃います。
連絡先 七尾市観光交流課
☎0767(53) 8424

七尾市民大学 等伯特別講座

①体験学習講座 I
5月12日(水)
時間 午後3時～4時30分
「松林図屏風」の複製や、仏画の複製を間近に鑑賞しながら、作品に隠された謎や情報を学びとります。
場所 当館アートホール
受講料 1,100円
(特別観覧料、資料代込)
※展覧会観覧料は含まれません
定員 先着30名

②鑑賞体験学習講座 II

5月19日(水)
時間 午後3時～4時30分
等伯の息子や弟子たちについて学び、学芸員の解説で「等伯をめぐる画家たち」展を鑑賞します。
場所 当館アートホール・展示室
受講料 600円(展覧会観覧料)
定員 先着20名
主催・連絡先・申込先
七尾市生涯学習課
☎0767(53) 3661

(仮)坂東玉三郎 等伯記念講演会

5月22日(土)、5月23日(日)
場所・時間・内容は調整中です。
主催 長谷川等伯没後400年記念事業実行委員会
事業実行委員会
連絡先 七尾市文化振興課
☎0767(66) 2325

東京国立博物館「長谷川等伯展」開幕!

去る2月22日、東京国立博物館の平成館において「没後400年 長谷川等伯展」の開会式が開催されました。会場は多くの関係者が訪れて熱気に包まれ、テロップカット終了後、左右のエスカレーターからたくさんの方が一気に2階会場へと移動していく様は感動的でした。

展示は7章で構成され、七尾時代から最晩年までの作品を網羅した展示は圧巻でしたが、特に興味深かったのが来館者の反応です。晩年の水墨画などは、東京国立博物館や出光美術館でご覧になった方も多いのですが、能登時代の仏画を初めて鑑賞したという方が非常に多く、その画業の幅広さに驚かれています。もちろん、名作「松林図屏風」の存在感は言うまでもありません。皆さん、その姿に魅せられていました。

一般公開初日の朝、開館前には3000人近い人が列をなしていました。グッズ売り場でも、クリアファイルやストラップ、可愛い猿猴マスコットや松林図屏風のTシャツにマイバッグ、等伯会オリジナル色紙や香りの記念日実行委員会の「等伯香」などが並び、とても賑わっていました。

さあ、これからどんどん盛り上がって、京都展最終日あたりは何時間待ち?となりますか。みなさんの目で確かめてきてください!



東京国立博物館の「没後400年 長谷川等伯」展会場 (画像提供: 毎日新聞社)



「第66回現代美術展 七尾展」

6月4日(金)～27日(日)

第一・第二・第三展示室

兼六園が桜色に染まる頃、石川県の春は美術作品で彩られます。

毎年金沢市で開催される「現代美術展」は主に県内の作家や美術愛好家たちが新作を出品する公募展です。昭和二十年五月に始まり、今回で六十六回目を迎えるこの公募展は、県下最大規模を誇り、現在、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門で実施されています。所属会派を超えて出品される作品を一堂に鑑賞することができ、現在の石川県における美術の流れを展覧する絶好の機会といえます。

今年四月三日から石川県立美術館(日本画・彫刻・工芸・写真)と金沢21世紀美術館(洋画・書)の二会場で開催されます。展示作品は委嘱出品と一般公募から構成されており、委嘱出品の部では、文化功労者や日本芸術院会員、人間国宝を筆頭とする出品委嘱作家(石川県美術文化協会会員)の作品が展示されます。一方、一般出品の部は、長年にわたり制作活動を続けている作家から新進気鋭の作家まで幅広い層からの応募があり、入選率五割という厳しい審査を経て選ばれた作品を展示するもので、展示の総点数は千点にもおよびます。今回新たに十五名の作家が展覧会への出品委嘱を受けたので、彼らの力作が展覧会に華を添えてくれることでしょう。

さてこの展覧会、昭和四十九年の「第30回現代美術展」以降は毎年四月の開催となり、「現代美術展」で一年が始まる」と感じる方も多いかと思えます。

金沢展の後、県内の数か所を巡回しますが、巡回展は開催地ごとに地域で制作活動を行っている作家の特色が色濃く反映された内容となります。七尾展は昭和二十一年六月の第二回展が開催さ

れた後は、当美術館が開館するまで実施されていませんでしたが、平成七年四月の開館を機に、毎年六月に開催し、今年で十六回目を迎えます。「第66回現代美術展」出品作品の中から、石川県美術文化協会役員作品、能登地区在住および出身委嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品、能登地区(宝達志水町以北)在住者の作品を選抜し、紹介します。

自分の作風を貫く作家や新たな表現に挑戦する作家がどのような新作を発表するのか、楽しみにお待ちしております。

主催(予定) 七尾市、財団法人七尾美術館、財団法人石川県美術文化協会、北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、財団法人芸術文化協会、ラジオななお後援(予定) 能登地区各教育委員会

《巡回予定》 ※詳細は各会場へお問い合わせください。

金沢展 4月3日(土)～20日(火)

会場 石川県立美術館・金沢21世紀美術館

加賀展 4月28日(水)～5月9日(日)

会場 加賀アートギャラリー

白山展 5月14日(金)～30日(日)

会場 白山市市民工房うるわし



昨年の展覧会の様子



◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	400円	300円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	350円	300円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

◆定期ビデオ上映会年間予定(上半期)◆

毎回午前11時(上映時間約30分)
当館アートホールにて、入場無料
石川県を代表する工芸作家にスポットをあ
て、作者本人へのインタビューを交え、その人
と技・作品を紹介します。
※都合により、上映作品を変更することがございます。

- 「シリーズ 北陸の工芸作家 石川の匠たち」より
- 5/1(土) 漆が呼ぶ里 人間国宝 塩多慶四郎
 - 6/12(土) 即是色 人間国宝 三代 徳田八十吉
 - 7/10(土) 木塊 人間国宝 川北 良造
 - 8/7(土) 炎と土と色 文化勲章受章者 浅蔵五十吉

市民ギャラリー 展覧会案内

飯田則子 回顧展

「蟹がおやつであった頃」

4月14日(水)～18日(日)
但し、最終日は午後3時まで

幼稚園教員を定年退職した頃から最新作までを
含めた油絵作品 大小約50点の回顧展です。

入場料 無料

主催・連絡先

飯田則子 ☎0767(52)6374

アートホール 催し物案内

ファミリーコンサート

6月20日(日)
開演 午後1時

大正琴・三味線・ピアノによる合同コンサート
です。それぞれの持ち味を生かして演奏をしたい
と思います。ご来場をお待ちしております。

入場料 無料
主催 琴絵会・洋三会
連絡先 細川一絵 ☎0767(84)1785



平成22年度 友の会事業カレンダー

- 2010 4月 ●美術館だより(第61号)春号発行
○4月23日(金)「等伯をめぐる画家たち」展
開会式へ友の会会員をご招待!
式典終了後には展覧会の鑑賞(無料)もできます
◆会期初めに友の会会員対象の列品解説を開催(※)
- 7月 ●美術館だより(第62号)夏号発行
○7月31日(土)「土門拳の昭和」展開会式へ友の会会員をご招待!
式典終了後には展覧会の鑑賞(無料)もできます
- 8月 ◆「土門拳の昭和」展にて友の会会員対象の列品解説を開催(※)
9月 ◆「土門拳の昭和」展関連の美術講座を開催予定
10月 ●美術館だより(第63号)秋号発行
11月 ○11月6日(土)「2010イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」開会式へ友の会会員をご招待!
式典終了後には展覧会の鑑賞(無料)もできます
- 2011 1月 ●美術館だより(第64号)冬号発行 ※印の催しは会員本人と同伴者2名まで参加できます

友の会美術講座

「志野焼入門」開催報告

去る1月17日(日)、七尾市在住の陶芸家、澤崎
俊治氏を講師にお迎えし、「志野焼」の花入れと湯
飲みを制作する焼き物講座を開催しました。

まずは、参加者12名で志野焼が展示されている
「冬季・所蔵品展」を鑑賞し、さらに澤崎氏の解説
で「石動山」をイメージして制作された氏の作品
『不動』を特別鑑賞しました。

次に、制作会場へ移動、簡単なレクチャーの後
いよいよ制作に入ります。あらかじめ柔らかくこ
ねられた粘土が一塊ずつ配られました。室内の乾
燥と触れる手指の温度で粘土も次第に乾燥し、硬
くなつていきます。参加者の皆さんは頭の中で完
成型を描きつつ、迷いながら、楽しみながら制作
している様子。

今回は有能な秘書兼マネージャーでいらつしや
る澤崎氏の奥様も指導補助をしてくださいました
ので、各々の制作スピードにあまり差がなく、予
定より早く仕上げることができました。余った粘
土でさらに小物を作る方、仕上がった作品を愛お
しそうに眺める方など様々でした。

氏は終了予定時間まで焼き物との出会い、陶芸
家としてこれまで歩んできた道など興味深いお話
も披露して下さいました。

冬のひととき、和やかな雰囲気でも美術講座を開
催することができました。澤崎先生、奥様、参加
者の皆様ありがとうございました。



※次号には完成作品を掲載する予定です。お楽しみに!

石川県七尾美術館 開館15周年

平成7年4月28日、青空の下、石川県七尾美術館が開館いたしました。
色々な方面からのご支援や、たくさんの方のご協力を頂いて開館の日を迎えられたことを思い出します。

記念すべき一般公開初日のお客様は417人。それから15年。お陰様で、この間に59万人のお客様にお越しいただきました。振り返りますと、ジャンルを問わず、能登や石川県にゆかりのある作品はもとより、国内外のさまざまな作家の作品を紹介することができました。中には「もう一度開催してほしい」と、嬉しいお言葉をいただくものもあり、展覧会の他にも、ワークショップや友の会行事など、たくさんの方とのふれあいの時間を持つこともできました。

この15年を一つの節目として、感謝の心を忘れず、より一層皆様に親しんでいただける美術館を目指して、職員一同で力を合わせ努力して参ります。これからもご支援賜りますようお願い申し上げます。

15周年記念イベント

その① 4/29 (木・祝) 限定スピードくじ

観覧券ご購入のお客様、先着150名様対象。

☆特賞(1本)「松林図屏風ミニチュア」や図録等のプレミアムセット。

☆2等、3等(各5本) 美術館グッズセット。
☆4等(139本) 喫茶室利用割引券。

その② 喫茶室「15(いちご)メニュー」登場

15周年にかけて、等伯展から「いちご」を使った特別メニューをご用意!

その③ 「等伯関連書籍コーナー」設置

自由にご覧いただけるコーナーを設置しました。

平成二十一年度新所蔵品紹介

平成二十一年度に新しく当美術館所蔵となった作品を紹介いたします。

① 日本画「山水図」 岡田半江
江戸時代後期(19世紀) 制作

② 日本画「山水図」
江戸時代後期(19世紀) 制作

③ 日本画「故事人物図」
江戸時代後期頃(19世紀) 制作

④ 日本画「虎鷹図衝立」多田宅兵衛
江戸く明治時代(19世紀) 制作
※①〜④呉座井由紀子氏より寄附

⑤ 日本画「白竜昇天」 小坂肇俊
平成14年(2002) 制作

⑥ 日本画「有終荒神」 小坂肇俊
平成17年(2005) 制作
第58回創造展特選受賞

⑦ 日本画「大隋求像」 小坂肇俊
平成18年(2006) 制作
会員小品展出品
※⑤〜⑦小坂肇俊氏より寄附

⑧ 洋画「二つのマリオンネット「静かな夫婦」」
戸潤幸夫
平成3年(1991) 制作

⑨ 洋画「小景異状」 戸潤幸夫
平成16年(2004) 制作
第75回第一美術展出品

⑩ 洋画「ニューヨークは語る」 戸潤幸夫
平成17年(2005) 制作
第76回第一美術展第一美術協会賞受賞

⑪ 彫刻「少女像」 田中太郎
昭和23年(1948) 制作
第33回院展出品
※日本たばこ産業株式会社金沢支店より寄附

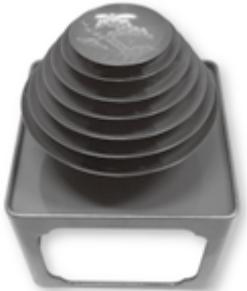
⑫ 漆工「松竹梅沈金七つ組杯・杯台」
明治時代頃(19世紀) 制作
⑬ 漆工「花鳥沈金五段重」
明治時代頃(19世紀) 制作
※⑫、⑬呉座井由紀子氏より寄附



「少女像」 田中太郎



「虎鷹図衝立」より「虎図」 多田宅兵衛



「松竹梅沈金七つ組杯・杯台」



「有終荒神」 小坂肇俊



「ニューヨークは語る」 戸潤幸夫



これからの展覧会予定



◆第1・2展示室

「池田コレクション名品展」

7月3日(土)～25日(日)

長谷川等伯が活躍した桃山時代には、自由闊達な時代の気風を反映した様々な新しい美術工芸品が流行しましたが、「志野」や「織部」などの「美濃焼」もそのひとつです。当館所蔵品の中核「池田コレクション」には「美濃焼」が多く含まれており、本展では「池田コレクション」よりそれらをはじめとして、近現代日本画や現代彫刻など、様々な作品を幅広く紹介します。



「織部菊図折込鉢」

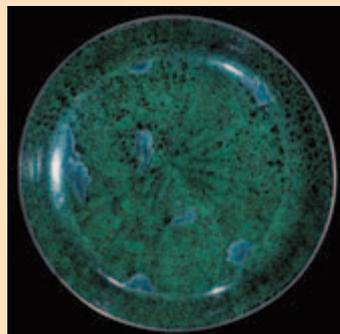
◆第1・2・3展示室

開館15周年記念

「生誕100年記念写真展－土門拳の昭和」

7月31日(土)～9月26日(日) 会期中無休

2009年は日本の写真史に絶大なる足跡を遺した写真家・土門拳の生誕100年で、本展はその記念巡回展です。氏が昭和10年から同54年まで45年間にわたって撮り続けた「激動の昭和」と、鋭い目で独自の美を選び出した「日本の美」を、土門家に残されていた今回初公開のヴィンテージプリントも含めて約200点紹介します。また、七尾会場のみの特展として、野々村仁清作の国宝「色絵雉香炉」(石川県立美術館蔵)を撮影した作品の他、土門が古九谷の名品を撮影した作品と共に、同館より実物の平鉢3点もお借りして公開します。



左:「志賀直哉(小説家)熱海・自宅」昭和26年
中:「傘を回すことも 東京・小河内村」昭和12年頃
右:「九谷焼 青手桜花散らし更紗文平鉢」昭和38年(土門撮影)



割引、プレゼントなど特典いろいろ / ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バス「まひる」
……JR七尾駅前「ミナ・クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車
なおコミュニティバス「ぐるっと?」
……JR七尾駅5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

休館日のお知らせ

(4月～6月)

- ◆4月 5、12、19～23
- ◆5月 31
- ◆6月 1～3、7、14、21、28～30

◎次号・第62号(夏号)は7月1日発行予定です。

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台1丁目1番地
TEL(0767)53-1500 / FAX(0767)53-6262
<http://www.city.nanao.ishikawa.jp/nanabi/>

石川県七尾美術館だより

第61号(春号)